

## 森林インストラクターの森 活動報告

期 日：2021年10月10日（日）

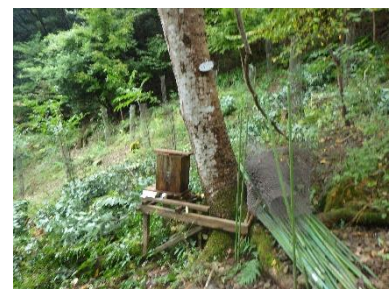
作業内容：日差し確保の為の高木の伐採、放置されていたネットや支柱の区分け集積

参加者：7名（横山、森永、星野、近江、田崎、本田、辰尾）

報告者：辰尾

緊急事態宣言中は、インストラクター会としての公的な活動は休止していたので、本日は宣言解除後の久しぶりの活動となりました。

ストレッチ体操の後、6月に引き続き、日差し確保の為の高木の伐採に4名と「シカ対策ネットの手入れ」が終わった後の、使わなくなったネットや支柱の区分け・集積作業に3名とに分かれて作業を開始しました。天候は曇りでしたが、夜に雨が降ったらしく通路が滑りやすくなっていましたし、作業場所は礫の多い斜面で滑ると言うより足元の礫が崩れるように下方にずれていく感じで、足元の不安定な場所での作業となりました。高木伐採は南側斜面上部にある比較的大径なカラスザンショウ（右下の写真）を予定していましたが、現地を見てこのカラスザンショウの更に上部にある二股に分かれたタブノキを先に伐採することになりました。このタブノキは根元から70cm程度のところで二股に分かれていて、その一方は6月に伐採したタブノキと同程度の樹高・幹周りで、もう一方はそれより少し細めでした。伐採後は大きく窓が開いたように空が良く見えて、日差しが広範囲の地表に届くようになって感じました。



使わなくなったネットや支柱の区分け・集積は、南斜面上部の太いカラスザンショウの根元と南斜面下部（トチノキ、イロハモミジ、ヤブデマリが並んでいる処）付近に集積しています。



作業は区切りの良い処まで頑張ってやったので、お昼過ぎまで掛かりました。下りて来て昼食をとりゆっくりと団欒のひと時を過ごし「森林インストラクターの森」を後にしました。